

## 事業報告 (案)

自 平成28年4月 1 日

至 平成29年3月31日

### I 事業活動の概況に関する事項

当法人の活動目的は、人を含めたすべての動物たちを幸せにすることです。そのためには、人も動物もより良い形で共生できる社会の構築が必要です。そこで、本年度においても、人と動物のより良い共生を進めるための啓発、教育、研究の各事業、そして目的を達成するために必要な、あらゆる事業を国内外にその分野の関係団体、専門家、行政機関等に幅広く連携を求めて実施しました。

#### 啓発事業

##### 第5回 神戸 すべての生き物のケアを考える国際会議2018 ICAC KOBE2018に向けて

この会議は、阪神・淡路大震災15周年を契機として、全ての動物を対象としたよりよいケアや生活環境の保全を目指すための情報交換や新技術の創出等を議論することにより、人をも含めた世界中の動物の福祉を向上させ、もって、我々人間が果たしうる責任を広く社会に示し、幸福な人と動物の共生を更に前進させることを目的として開催しています。2017年に第5回を開催する予定でしたが、2016年4月に起こった熊本での地震の影響も大きかったことなどから、第5回を2018に開催することに決定しました。

##### 第16回 りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル2016

動物と暮らすことの楽しさを実感して頂くことで、飼育マナーの啓発や世代間交流の一助として、人と人、人と動物の幸せな共生社会の構築に寄与することを目的としております。フェスティバルの内容は、初心者向けドッグスポーツ大会、補助犬、ワーキングドッグのデモンストレーションなどの他、神戸市犬譲渡制度のPR等動物にかかわる様々な団体が一堂に会してイベントを実施しました。

開催日時：2016年10月23日(日)、30日(日) 10:00~16:00

開催場所：六甲山カンツリーハウス ドッグラン/ドッグラン前広場

主 催：公益社団法人 Knots

共 催：神戸市動物愛護協会、六甲山カンツリーハウス

後 援：近畿環境事務所、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、公益社団法人日本獣医師会、一般社団法人兵庫県獣医師会、公益社団法人神戸市獣医師会、公益財団法人日本動物愛護協会、公益社団法人日本動物福祉協会、公益社団法人日本動物病院協会、公益社団法人日本愛玩動物協会

開催協力：神戸市動物管理センター、公益社団法人日本動物福祉協会CCクロ、公益社団法人神戸市獣医師会、社会福祉法人兵庫盲導犬協会、NPO法人日本サービスドッグ協会(JSDA)、NPO法人兵庫介助犬協会、日本フリスビードッグ協会、阪神警察犬訓練所、Dogs Life、徳田建

出店協力(Dog Goods Marche 出店を含む。)：革首輪工房 With Dogs、\*Tansoku\*、pico\*、tocotoko、Perrito Perrazo、大辞典.com、環境プラント工業株式会社ワンフー事業部、グラフィティウッド、BROOK NOA、Cullinan power & カリナン one、Lab&Peace、WAPOO、NoDogs +M's、グリーンキーパー、DOG PAPA、soleil-mare、日本サービスドッグ協会、CCクロ、兵庫盲導犬協会、兵庫介助犬協会

賞品提供：株式会社 JTB 国内旅行企画 西日本事業部、DOG PAPA、日本フリスビードッグ協会  
募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など  
ルール等：事前にウェブ上で公表

## りぶ・らぶ・あにまるず賞 2016

「りぶ・らぶ・あにまるず賞」は、企業・団体が、動物愛護法を尊重し、その商品及び活動が人と動物の共生という視点を反映し、一般の方々への啓発と日本における新たな共生文化へ発展することを期待して設けられました。また、そのような企業・団体に感謝の気持ちを表明することを目的としております。

対 象：人と動物の共生へ尽力する企業の商品及び活動

選出方法：ウェブサイト上で意見を募集し、企業活動をノミネート。選考委員による投票で最終決定する。

選考委員：横山章光氏（ヒトと動物の関係学会 常任理事）

児玉小枝氏（どうぶつ写真家）

野田英明氏（六甲山観光株式会社 取締役観光事業部長）

深尾典男氏（国立大学法人長崎大学 副学長）

富永佳与子（公益社団法人 Knots 理事長）

発 表：「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル 2016」会場及びウェブサイト上にて公表。

### グランプリ

佐賀県旅館ホテル生活衛生同業組合

熊本地震の被災者支援としてペット連れの方を含む多くの方に対して、宿泊施設での一時避難受け入れを始められました。

### 特別賞

APPRICIATE CORP.（台湾）

熊本地震の被災者支援として、いち早く、多額のご寄付を頂きました。

## 奈良県「いのちの教育展開事業」連携協定事業及び教育事業

動物を通じた教育は、いのちを大切に、共感を育む教育として文部科学省の指導要領にも盛り込まれており、アジア型ヒューメインエデュケーション構築に取り組み、人も動物もお互いを思いやれる未来へ寄与するものです。

当法人は奈良県うだ・アニマルパーク振興室と2012年6月から連携協定を締結し、共に「いのちの教育」の普及を推進しています。

### 「いのちの教育プログラム」講演会

開催日時：2016年8月22日（月） 13:30～16:00

場 所：奈良県うだ・アニマルパーク動物学習館

主 催：奈良県うだ・アニマルパーク振興室

共 催：公益社団法人 Knots

内 容：アメリカ グリーンチムニーズ&ファームサム&マイラ・ロス研究所 教育プログラム部長 木下美也子氏によるグリーンチムニーズでの先進的な取り組みと日本におけるヒューメイン教育の可能性について

## 奈良県「いのちの教育」研修会

この研修会は、奈良県のうだ・アニマルパークで毎年秋に開催されている研修会で、今年は11月8日（月）と22日（火）に開催されました。この研修会は、うだ・アニマルパーク振興室で実施されている「いのちの教育」プログラムの取り組み内容や、その成果などを全国の動物行政や教育関係者などと情報共有をして、今後の更なるプログラムの内容のブラッシュアップや他の自治体での取り組みとの連携などを目的として開催されています。参加者は関西だけではなく、関東方面や九州地方からも関係者が参加しています。この研修会では、各地で実際に子供たちに接している現場の職員が一同に介して情報交換できることから、「動物のいのち」を通した子どもの教育の情報発信拠点として重要な役割を担うようになっています。

開催日：2016年11月8日（火）～22日（火）

開催場所：奈良県うだ・アニマルパーク 振興室 動物学習館

主催：奈良県うだ・アニマルパーク振興室、公益社団法人 Knots

協力機関：中和保健所動物愛護センター

後援：奈良県教育委員会、宇陀市教育委員会、公益社団法人 日本動物病院協会、公益社団法人 奈良県獣医師会

## 教育ツール共有事業

現在、全国の動物愛護（管理）センター等では、「いのちの大切さ」や「適正飼育」「殺処分数減少」を目的とした子どもたちへの教育活動の必要性に対する認識が高まっており、この現状にこたえるために、これまでに各地の動物愛護（管理）センターと共に企画開発を行い、既に教育現場で実績のある動物愛護教育及びヒューメインエデュケーションに関するツール類を共有する事業を展開しました。教育ツールに関する情報は、多くの人に提供できるようにウェブサイトで公開しています。

### 「動物愛護カルタ」

動物と人間のかかわりや愛護教育に必要な文言を織り交ぜたオリジナルカルタです。動物愛護に関する標語以外に、様々な生き物のイラストもあり、興味を持ってもらえるように工夫されています。奈良県桜井保健所動物愛護センターなどで使用されています。

### 「学習シート」

動物を飼うために必要な知識や、飼い主の責任などを学習することができる学習シートで、現在10種類あります。奈良県桜井保健所動物愛護センターなどで使用されています。

### 「まちがい探クイズ」

街の中で暮らしている人と動物のイラストを見て、正しい飼い方（接し方）と間違った飼い方をクイズ形式で見つけるシートです。裏面には、それらに対する解説とアドバイスが記載されています。兵庫県動物愛護センター、神戸市動物管理センター、奈良県桜井保健所動物愛護センター、その他ボランティア団体など多くの行政庁、団体で使用されています。

### 「動物愛護（管理）センターに行こう！」

大型のパネルシアター形式で動物を飼育するために必要なモノや責任を考えつつ、愛護センターの業務内容を伝えています。動物たちは、温かみのある手作りの大型張り子（新聞紙で作った人形）を使用していますので、子どもたちの興味を引くようにされています。神戸市動物管理センター、奈良県桜井保健所動物愛護センターで使用されています。

この他、京都市が企画開発したもので、「いきものとなかよし（A4 サイズ副読本&B3 サイズ紙芝居）」があります。主に小学1年生を対象とした、さまざまな動物との関わりや「いのちの大切さ」を伝えることを目的とした学習ツールです。京都市の教育委員会の協力の元、京都市内の小学生を対象に使用されています。

また、奈良県の「いのちの教育」で使用しているツールの簡易版（黒板用教材）に於いては、東都八王子市と宮崎県から追加制作の依頼がありました。

### 「ずっと一緒にいようよプロジェクト」

このプロジェクトは2011年の東日本大震災をきっかけに始まりました。飼い主さんにとってペットと一緒にいる風景が日常であり、ペットは力強く生きる力を生み出してくれます。このペットたちと「ずっと一緒にいられる」社会システムを考えていくことがこのプロジェクトの趣旨です。また、2016年4月の熊本地震に対する支援として、緊急にウェブサイト等で募金を募り、そして多くの飼い主さんに、ペット可物件入居の支援金をお渡しすることができました。

「伴侶動物との暮らし」を活用した「高齢者が幸せに暮らせる社会システム」の提案

昨年実施した ICAC KOBE 2015 の中で行われたシンポジウムⅣの内容を論文にまとめ、一般社団法人シニア社会学会機関誌第14号（2016年6月）に掲載されました。広く一般の方々にも提供し活用できるように、ウェブサイトでも公表しております。

### 六甲山カンツリーハウスわんわんドッグフェスタ 2016 運営協力

毎年、春と秋2回のドッグラン、イベントなどの運営協力を行っています。この事業に、たくさんの飼い主さん、ワンちゃんにご参加いただき、動物と暮らす楽しさ、幸せを実感して頂きました。人と動物のより良い共生推進の一助として運営協力いたしました。参加者には、登録と予防接種の狂犬病予防法の順守を条件付けており、啓発にもなっています。

主 催：六甲山カンツリーハウス

運営協力：公益社団法人 Knots

募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など

ルール等：事前にウェブ上等に公表

### Dog Run

期 間：春 4月16日～ 6月26日までの土・日・祝日（5月29日を除く。）

秋 9月22日～11月 6日までの土・日・祝日（10月30日を除く。）

時 間：10時00分～16時30分

ワンちゃん大運動会

日 時：春 5月29日（日） 11：00～15：30

秋 10月30日（日） 11：00～15：30

### 野生動物有効活用推進事業

ひょうごニホンジカなどは知的障害者作業所の方と共同で開発・製造しました。播州宍粟ジカシリーズは地元の主婦グループにより製造し、当法人において販売しております。ウェブサイトを通じて、野生動物の有効利用を促進、有害鳥獣の現状等の情報提供も行いました。この事業の売り上げは「障害者の自立支援事業」実施の財源となっています。また、有効活用を進めることで、産業が生まれ、雇用創出につながり、ひいては生産者の方々の生活向上の一助にもなっています。

### 各種コンサルティング・相談業務の実施

動物と安全に暮らしていくための相談対応、ペット可集合住宅での管理組合、管理会社のサポート、野生動物との関わり方など人と動物の共生に係る様々な相談に対応します。また、人も動物も快適な住まいや旅行等の商品開発のためのコンサルティングを実施します。人と動物のより良い共生を推進し、人も動物も幸せにするために、必要な相談等をイベント会場等で行いました。

募集方法 ウェブサイトなど

### 障害者の自立支援事業

当法人が販売している安全安心な犬用手作りおやつのだんごは NPO 法人おーけすとら・びっと就労継続支援（B 型）事業所 Patch(パッチ)に製造を担当して頂いています。また、新商品の開発も共に行っています。意識の高い飼い主のニーズに合った安全、安心な犬用おやつを販売することが、障害者の方々の自立支援となるのではないかとということで、一緒に開発、製造、販売に取り組んでいます。

Patch は製造担当として、品質管理等にも注力され、商品の品質も認められて、今では多くのお客様が定期的に購入をして下さっています。その結果、モデル作業所として認められ、他所から視察に来られたりもします。

また、この事業の推進によって、障害者の方々が仕事に対するやりがいを感じ、当初の目的であった、メンバーの方達の通所費用を賄えるところまで、運営が進んでいます。引き続きこのような形で自立支援を行っていきます。

### 情報提供事業

主にウェブサイト、メールマガジン等を通して、事業開催情報の他、他団体の催事情報や国内外のレポート等も提供し、更に各種イベントを通じて、幅広く不特定多数の方々に人と動物の共生に関わる様々な情報を提供しました。

特に、「神戸アニマルケア国際会議 ICAC KOBE」の実施報告書は当法人のウェブサイト上でも無料で公開しており、研究者や内外の関心を持つの方々に会議の成果をご活用頂き易くなっております。

## 教育事業

人と動物のより良い共生を進めるために役立つ情報を、主にインターネットを通して幅広く提供しました。実施した会議や講演会等の貴重な内容については、可能な限りウェブサイト上で、特に ICAC KOBE は、日英両文にて公開し、当日会場に来られなかった全世界の不特定多数の方々を対象に教育の機会を設けています。

また、人と動物のより良い共生を推進する為、一般市民はもとより、関係する専門家、学生等にとっても有益な知識、情報を提供するべくセミナー等を実施、その他学校の教育事業に協力する等、人材の育成、知識の向上、児童及び青少年の健全育成に貢献しました。

### (1) 情報提供による教育機会の提供

人と動物のより良い共生の推進の為に、開催するセミナー等の内容は全て後日、記録集（可能なものについては、日英両文にて制作）としてウェブサイト上で無料公開し、会場に来られなかった不特定多数の方々へ教育の機会を提供しました。ヒューメインセンタージャパン（HCJ）事業（現在事業終了、ウェブサイトで閲覧可能）及び奈良県「いのちの教育プログラム」連携協定事業として講演会（奈良県うだ・アニマルパークとの連携事業）を実施し、情報と教育の機会を提供しました。

### (2) 講師の派遣

専門学校、セミナー等への講師派遣を随時実施、人材育成、知識の向上及び青少年の健全育成に貢献してまいります。今年度は講師の派遣はありませんでしたが、引き続き、関係者を含め、多くの方々に周知利用の促進を図っていきたくと考えております。

## その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

### 国内外の関係団体、専門家、行政機関との連携促進

『奈良県いのちの教育事業』推進のため、奈良県と連携協定を締結致しております。理事長は、同事業の基盤となる「奈良県いのちの教育研究協議会」副会長を務めています。

『野生動物研究グループ』（事務局：兵庫県森林動物研究センター内）  
人と野生動物のより良い共生のために課題研究に取り組んでいます。

### Knots ALOOHA Club の設置

賛助会員の新たな組織化方策として実施しています。活動に資金面だけではなく、組織化し、事業の報告会や会員相互の理解促進を図り、本事業を社会への啓発・教育事業として取り組み実施しています。

### その他

必要に応じて、可能な範囲で当法人の目的を達成するために必要な事業を実施してまいります。

## II 組織の運営に関する事項

### 1 社員総会の開催状況

|    | 開催年月日            | 主な議決事項等                 |
|----|------------------|-------------------------|
| 定時 | 平成 28 年 6 月 21 日 | 平成 27 年度計算書類等承認の件（承認可決） |

### 2 理事会の開催状況

|        | 開催日               | 主な議決事項等   |
|--------|-------------------|---|
| 第 36 回 | 平成 28 年 5 月 26 日  | ・平成 27 年度計算書類等の承認の件（承認可決）<br>・りぶ・らぶ・あにまらずフェスティバル 2016 開催について（職務の執行状況の報告を含む）（承認可決）<br>・ICAC KOBE 開催について（承認可決）<br>・社員総会召集の件（承認可決） |
| 第 37 回 | 平成 28 年 10 月 30 日 | ・職務の執行状況の報告   |
| 第 38 回 | 平成 29 年 2 月 6 日   | ・平成 29 年度事業計画について（承認可決）<br>・平成 29 年度収支予算について（承認可決）<br>・職務の執行状況の報告   |

### 3 役員に関する事項

| 地 位             | 氏 名    |
|-----------------|--------|
| 代表理事            | 富永 佳与子 |
| 代表理事            | 八木 卓也  |
| 専務理事            | 白川 尚範  |
| 理 事             | 佐藤 剣   |
| 理 事<br>(事務局長兼任) | 岡本 浩一  |
| 監 事             | 川崎 良輝  |

### 4 辞任した役員の氏名

| 地 位 | 氏 名  | 退任月日・退任事由 |
|-----|------|-----------|
|     | 該当なし |           |

- 5 法人の運営組織の状況に関する重要な事項  
特にありません。

- Ⅲ その他法人の状況に関する重要な事項  
特にありません。

平成28年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2017年5月  
公益社団法人 Knots